

第5学年1組 総合的な学習の時間指導案

場 所 5年1組教室

授業者 蒲倉 賢

1 単元名 みんなで祝おう わたしたちの観察池

2 単元の目標

観察池を構成する植物や動物、水資源に関わったり調べたりすることを通して、観察池の特徴やよさに気づき、多様な情報を比較したり関連付けたりしながら観察池への思いや考えを深めるとともに、観察池への愛着を高め、自分にできそうなことを実行できるようにする。

3 指導にあたって

(1) 児童の実態

4年生では信夫山周辺の自然や施設を題材に学習を進めてきた。「植物」「動物」「石や石碑」など自分が調べたいことを明確にし、ねらいをもって学習に取り組むことができた。信夫山の宝を大切にしたいという思いを高め、専門家や地域の方に協力をいただきながら学習を積み重ねた。自分事として探究活動に取り組み、それぞれ調べてきた自然や文化を比較することで、友達の考えに共感しながら協働的に学ぶことができた。しかし、自分と他者との考えの違いを吟味し、自分の考えを深めるなど、本当に納得できる解を導くまでは至っていない子もいる。中学年の時は、足繁く観察池に出向き、トンボの幼虫を熱心に観察・飼育した。生き物と関わり、四季折々の生き物を調べる場となっている。

(2) 教材について

校内の観察園の中に観察池がある。教室からすぐに行けるので、繰り返し関わるができる場所である。池には、メダカやコイ、ヤゴ等が生息し、スイレンの葉や花が水面に浮かんでいる。しかし、落ち葉や植物の残骸などが水底で堆積し、水質汚濁により生物多様性が高いとはいえない。動植物や土、水質などの様子をよく観察することを通して池の問題点に気づき、それを解決しようと試行錯誤しながら学習を深めることができると考える。また、観察池に関わる技能主事や森の案内人の思いや願い、努力を知ることで、地域や学校に対する誇りや愛着をもち、これを守っていきたいという思いから、意欲的に考えたり活動したりすることが期待できる。

(3) 単元の展開

5月15日で創立140年を迎える、福島第三小学校について考えることをきっかけに単元を始めた。話し合いを進める中で、「福島第三小学校の代表的な場所をにぎやかにしたい」「福島第三小学校が喜ぶようにもっと動物を増やしたい」という声が上がった。学校の代表的な場所である愛の庭や観察園、誠の庭などをもっと調べてみたいという思いから、調査活動に出かけた。子どもたちは、愛の庭はきれいだけれど、観察園はもうひとつ、観察池が濁っていることに気付いた。2つ目の小単元では、観察池を様々な視点から広く捉えることができるようにした。自分がこだわって調べていきたいテーマを決め、グループ毎に活動する場を設定した。それぞれが発見した観察池の魅力を共有することで、福島第三小学校で大切にしたい場所であるという思いを高めることができた。次に、観察池をどんな池にしていきたいのか、観察池〇〇プロジェクトを立ち上げる。〇〇池にするにはどうしたらよいか、多面的・多角的な視点から考え、理想と現実のズレから、課題を共有することができるようにする。目指す池づくりにするための活動を通して、様々な課題に直面することが想定される。「思った通り生き物が集まってくれない」「〇〇が枯れてしまった」などの課題が生まれてくるだろう。子どもたちの思いを十分見取り、森の案内人や福島大学附属中学校（2023全国学校・園庭ビオトープコンクール文部科学大臣賞）など出会う必要感のある専門家の方から、課題を解決する方法を学ぶ場面を設定する。発問や学ぶ場の設定など、教師が子ども一人一人に応じた働きかけを工夫し、友達と関わりながら自分ができることを実践していくことで、理想の観察池に近づけるようにする。そして、観察池への思いや創立140周年記念の学校を祝う気持ちを生かし、観察池のよさを在校生や地域の方へ発信する活動につなげたい。在校生や地域の人々が力を合わせれば、観察池や地域の自然を守っていけることに気付かせたい。

4 単元の計画（総時数 70 時間）

（1）単元の評価規準

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	観察池を探究する中で、その特徴や魅力を理解したり、調査活動を目的や対象に応じて実施したりしている。	観察池についての多様な情報を比較したり関連付けたりしながら整理・分析し、観察池への思いや考えを深め、相手や目的に応じて表現している。	他者と協力しながら探究活動に取り組み、観察池への愛着を高め、自分にできることを考えて実行している。
小 単 元 の 評 価 規 準	<p>①観察池には、様々な動植物や水質などの特徴や魅力、問題点があることを知るとともに、池や地域の生態系について理解する。</p> <p>②観察池に関する情報を収集する調査活動において、目的や対象に応じて現地での調査やインタビューを実施している。</p> <p>③観察池に対する考えや思いの変容は、池や自然を大切にす地域の人と関わりながら探究的に学習したことの成果であると気付いている。</p>	<p>①体験活動で感じたことや問題状況を比較することを通して、課題を設定し、解決する見通しをもっている。</p> <p>②課題に応じて情報を収集する方法を選択し、集めた情報を蓄積している。</p> <p>③多様な情報を、比較したり関連付けたりしながら整理・分析し、解決に向けて考えている。</p> <p>④単元を通して学んだことや自己の変容について、相手や目的に応じて、リーフレットやポスターにまとめ表現している。</p>	<p>①異なる意見や他者の考えを受け入れながら取り組もうとしている。</p> <p>②何度も繰り返し調査したり、学習計画を修正したりしながら、納得のいくまで調査しようとしている。</p> <p>③これまで探究してきたことと様々な人の池や自然に対する思いを関連付けながら観察池への愛着を高め、自分にできることを考え実行しようとしている。</p>

（2）指導と評価の計画

小単元（時数）	学習活動（時間）	知	思	態
創立140周年の福島三小について考えよう（7）	<ul style="list-style-type: none"> ・創立140周年を迎える福島三小について考え、それぞれの思いを伝え合う。（1） ・学校を祝うために、校舎内外を見学・調査し、必要な情報を収集する。（2） ・調べて気付いたことや考えたことを整理する。（2） ・学校を祝う計画を立てる。（2） 	①	② ③	①
観察池をよく探ろう（10）	<ul style="list-style-type: none"> ・観察池について調べたい視点を出し合い、学習計画を立てる。（2） ・自分の学習計画に沿って情報を集める。（4） ・観察池の視点ごとの特徴や魅力などを比較したり関連付けたりし、情報を整理する。（2） ・学習を振り返り、観察池の特徴についてまとめる。（2） 	②	① ③ ④	
観察池〇〇プロジェクト（35）	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の観察池と目指す観察池を対比し、学習の見通しをもつ。（本時3/3） ・目指す観察池にするための方法について、必要な情報を集める。（3） ・集めた情報を整理・分析し、観察池〇〇プロジェクトIに取り組む。（10） ・観察池〇〇プロジェクトを見直す。（2） ・森の案内人や附属中の生徒から池づくりについて学ぶ。（4） ・観察池〇〇プロジェクトIIを考え、実践する。（10） ・プロジェクトを振り返り、成果と課題を捉える。（3） 	② ① ③	①	② ① ③
みんなで祝い三小の観察池（18）	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが実践したことや創立140周年を迎える三小のことを振り返り、在校生や地域に発信したいことを考える。（2） ・観察池の特徴や魅力を伝える、学校を祝う方法を検討し、情報を整理する。（4） ・計画に沿って発信したり実行したりする。（9） ・今後の観察池との関わり方や自己の生き方について、考えたことを話し合う。（3） 	③	③ ④	②

5 本時の計画

(1) 本時のねらい

観察池〇〇プロジェクトに向け、どんな活動をするのか話し合うことを通して、活動によって生じることやその関連性を考え、今後の学習の見通しをもつことができる。

(2) 教師の見取りと子ども同士の関わりを支える働きかけ

イメージマップの活用と見取りを生かした意図的指名

本時では、目指す観察池にするにはどんな活動をしたらよいか、イメージマップを活用しながら話し合う場を設定する。「上手くいきそう」「ちょっと心配」と考えた板書を色分けしたり、関係してくる視点を線でつないだりすることで、活動によって生じることが複数あることや他の視点と関連が出てくることを捉える。また、教師が子どものつぶやきに耳を傾けることで個々の学びを見取り、意図的指名を行う。同じ視点で友達のかえに共感したり反対のかえを聞いたりすることで、活動の方向性を吟味できるようにする。さらに、出来上がったイメージマップを振り返り、「上手くいきそう」と「ちょっと心配」と感じた部分を対比するなどして、活動計画を立てるためにさらに情報が必要であると気付くことができるようにする。

(3) 指導過程

学習活動・内容	時間	○指導上の留意点 ◆本時の重点 ※評価
1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをもつ。 目指す観察池にするには、どんな活動に取り組みばよいか。	5分	○ みんなが目指す観察池について、前時に話し合っただけの掲示物や写真等を使って振り返り、本時の学習のめあてをもつことができるようにする。
2 どんな活動をするか話し合う。 ・水の入れ替え ・土の入れ替え ・新たな植物 ・新たな動物 ・動物を呼ぶための環境 ・学習の場所 ・憩いの場所	25	◆ イメージマップを使って、考えの特徴ごとに色分けしたり、関係してくる視点を線でつないだりすることで、活動によって生じることが複数あることや他の視点と関連が出てくることを捉える。 ◆ 子どものつぶやきから個々の学びを見取り、意図的指名をすることで、同じ視点で友達のかえに共感したり反対のかえを聞いたりし、自分の考えを深めることができるようにする。
3 活動計画を立てるのに必要なことは何かを考える。 ・水質 ・植物 ・動物 ・集客 ・土 ・時間 ・順番	10	◆ 完成したイメージマップを振り返ることで、活動計画を立てるには、さらに情報を集めたり考えたりすることが必要であると気付くことができるようにする。 ○ 自分が活動したいことを中心に、次の学習に必要なことをまとめることで、学習の見通しをもてるようにする。 ※ 活動計画を立てるのに必要なことは何かを考え、今後の学習の見通しをもっている
4 本時の学習を振り返る。 今日の学習で、どんな活動をしていきたいか、お互い分かった。△池にするために、○について情報を集めて、活動計画を立てたい。	5	(発言・ワークシート) ○ 振り返りを伝え合う場を設定し、各々の学びのよさを価値付けることで、次時の学習への意欲を高めることができるようにする。

